

見附市長選挙公報

平成26年10月26日執行

見附市選挙管理委員会

～ 未来の子どもたちに“ふるさと見附”を～

見附市が進めてきた“オンリーワンのまちづくり”、“スマートウェルネスみつけ”の考えが、超高齢化・人口減少社会を乗り越える提案として国の『モデルケース』に選ばれました。

全国でも限られた都市に認められたこのチャンスを生かし、見附市の希望ある未来を築いてまいります。モデルケースでは、次の6つの施策を実行いたします。

1. コンパクトシティ

- ・歩いて暮らせるまち、市民サービスが充実するまちとしてコンパクト化を進めます。
- ・人口が減少しても、人口密度を維持することで社会インフラの維持を可能とします。

2. コンパクトビレッジ

- ・各地域においてもコンパクト化を進めることで持続可能性を高めます。新たな居住者、子育て世代の誘導を計ります。

3. 公共交通の充実

- ・コンパクトビレッジとコンパクトシティ、中心市街地を結び回遊する公共交通を充実します。

4. 中心市街地の賑わい

- ・公共交通を利用して、行きたくなる場所、行きたくなる施設を整備します。参加し楽しむ“健幸”になれる多くの仕組みを考えます。

5. 地域包括ケアシステムの構築

- ・医療・介護・地域が連携し、安心して高齢期を迎えられるまちづくりをします。在宅支援、介護施設の充実見守り体制の充実を計ります。

6. 総合的な住み替え施策

- ・コンパクトなゾーンへの施設や居住の誘導と支援をおこないます。
- ・一人暮らしや子育て家庭などライフスタイルに合わせた住まいを選びやすくします。
- ・健康優良住宅や住替え資金支援制度を打ち立てます。

また、現在すすめている9つの重点施策は引き続きおこなってまいります。

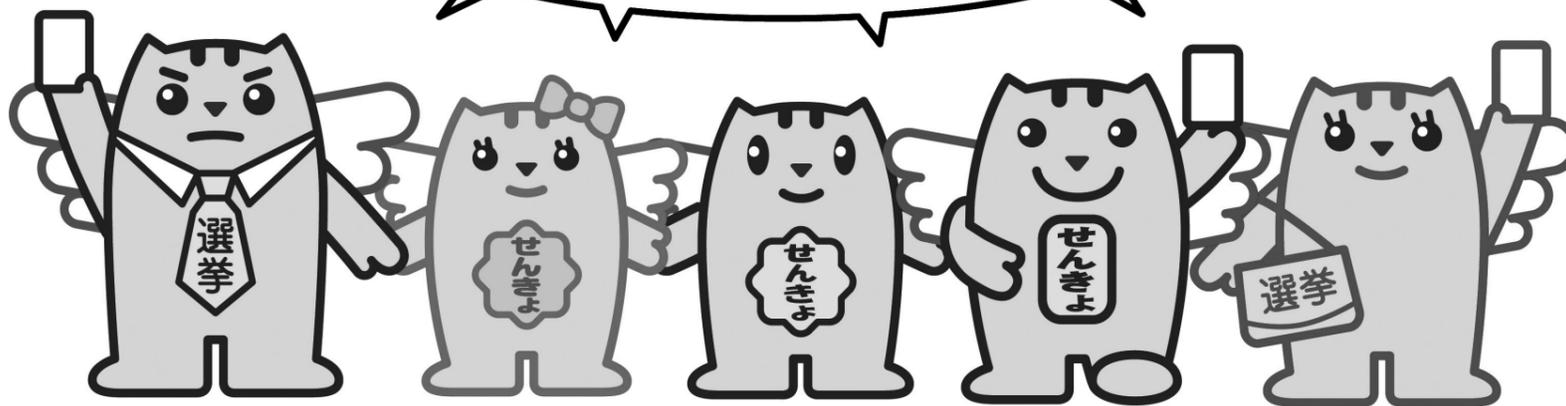
- | | | |
|------------------|---------------------|-------------------|
| 1. スマートウェルネスシティへ | 2. 深呼吸したくなるまち（環境計画） | 3. 地域コミュニティの推進 |
| 4. 魅力的な働く場の確保 | 5. 花と緑のある暮らし | 6. 快適な住環境 |
| 7. かわまちづくり | 8. まちなかにぎわいづくり | 9. ふるさとの魅力を磨く人材教育 |



昭和二十四年生
青山学院大学卒業 岩谷産業(株)勤務
平成十四年見附市長就任
筑波大学客員教授
提言実践首長会会長
スマートウェルネスシティ首長研究会 会長
全国まちの駅連絡協議会 会長

くすもときお

大切な一票、忘れず投票



投票日は **10月26日(日)**です

見附市長選挙公報

平成26年10月26日執行

見附市選挙管理委員会



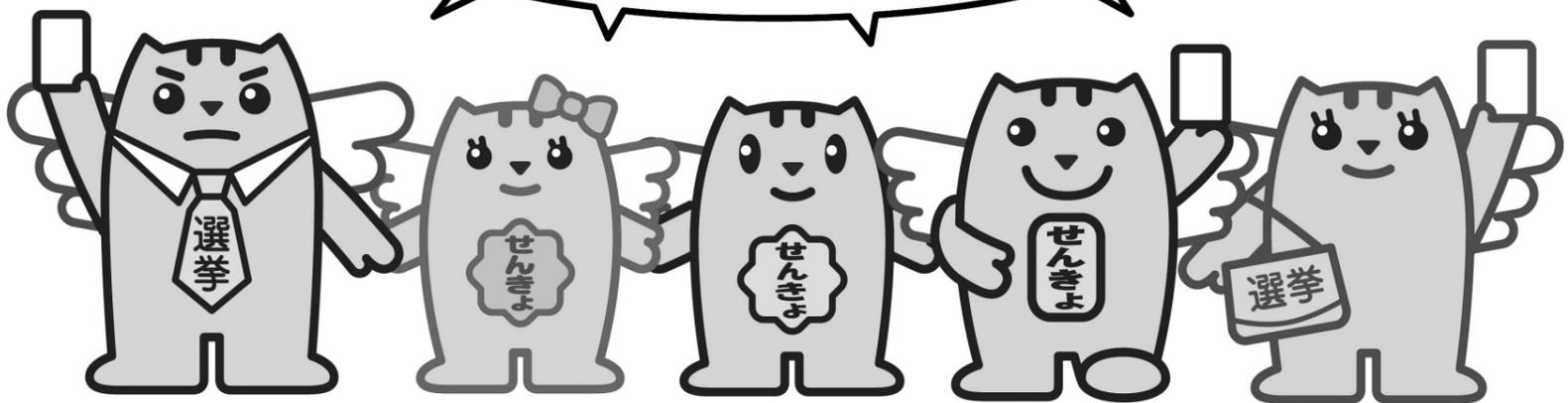
又又山三郎

一 無競争、多選は、政治に良くない
一 政治は、ボランティアで行うべきと思う

公約

- 一 市長の報収は、月三十万円とする
- 一 議員の月給(歳費)は、一日一万円の日当制
- 一 市職員の給料は、見附市民の平均と同じにする
- 一 ゴミは資源と考え、全量再利用する
- 一 市の公共施設の使用料は、すべて無料とする
- 一 エネルギーは、自給自足を目指す
太陽光・水力・風力・バイオ・その他
- 一 子供は見附の宝、未来であり、希望である
ので、十五才迄すべて無料
- 一 浴場は作ります、但し安いもの
- 一 見附市を一公園と考え、清潔にし、整える
- 一 原子力発電は、健康の為、自然界の為、
最終処分場ができる迄、再稼働しない
させない
- 一 子供、孫を兵隊にしない為、憲法九条を
守り、集団的自衛権は賛成しない
- 一 私のであり、見附高校を甲子園に
出場させる為、市民の御協力をお願いします

大切な一票、忘れず投票



投票日は**10月26日(日)**です